

平成26年度 学校経営 基本構想

学校教育目標

自ら学び、考え、共に高め合い、たくましく生きる子の育成

社会の情勢

- ・生きる力の低下
- ・高度の情報化社会
- ・家族、地域における人間関係の軽薄化
- ・グローバル化の促進
- ・人権感覚の欠乏

児童の実態

- ・学力定着の2極化傾向
- ・支持を待つことが多く受身的である。
- ・人権感覚が乏しい傾向がみられる。
- ・正しい善悪の判断ができてにくい。
- ・自ら切り開く経験に乏しい。

めざす子ども像

自ら進んで学ぶ子

- ◇人の話をしっかり聴く。
- ◇疑問や問題意識を持つ。
- ◇自分のおもいや考えを持つ。
- ◇学び方をしっかり身につける。
- ◇自分のおもいや考えをしっかりと表現できる。

自分と仲間を大切にする子

- ◇いのちの大切さを認識する。
- ◇相手意識を持ち、互いの考えや存在を尊重する。
- ◇仲間とともに協働しともに認め合う。
- ◇矛盾や不合理を鋭くとらえる。

心と体をきたえる子

- ◇心身共にたくましく、困難に打ち勝てる力をもつ。
- ◇基本的な生活習慣を身につける。
- ◇規範意識をもち、規律をまもる。
- ◇すすんで運動に親しむ。

- ◇基礎・基本の徹底と基礎学力の定着
- ◇一人一人の実態と課題の的確な把握
- ◇個に応じた指導方法の構築
- ◇教師の特性を生かした分かる授業の構築
- ◇学習方法を身につけ、高め合う学習集団の形成
- ◇見通しを持った指導と評価の一体化
- ◇たゆまぬ教材研究と自己研鑽

- ◇一人一人の個性を認め合い、よさを引き出す姿勢
- ◇子どもの立場によりそう児童理解
- ◇こまった時に助け合える仲間づくり
- ◇感謝する心をつちかう取組の構築
- ◇気持ちのよい挨拶・言葉づかいのできる子を育てる
- ◇子どもと向き合うための教育環境づくり

- ◇一人一人の心と体の健康課題の把握
- ◇望ましい基本的生活習慣の定着を目指した取組
- ◇保護者との連携
- ◇食育の取組の推進
- ◇達成感、充実感を持たせる取組
- ◇自然や芸術に親しめる環境
- ◇安全で整備された教育環境

道徳教育の推進

道徳を研究の中心に据え、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。

学校運営協議会

情報の共有と情報発信 学校と地域の密接な連携 地域の教育財産、人材等の活用

めざす教職員像

- ◇愛情と厳しさをもって子どもたちを育む教職員
- ◇自らの力量を高め続ける教職員
- ◇組織で動く教職員

めざす学校像

- ◇全教職員が教育課題を共有し、学校教育目標を達成する協働体制に基づいた学校運営を行う。
- ◇子ども一人一人に丁寧にかかわり、一人一人の未来を考え大切に育てる。
- ◇保護者や地域とのさらなる連携を図り、学校に愛着をもち、自ら信頼を築こうとする。
- ◇子どもも教職員もめあてをもち、充実感、達成感を喜び合い、感謝の気持ちを大切にする。